

「Go! Go! 林業」の感想

●森林環境税があることは知っていたけど、この雑誌でより詳しく知ることができた。高知県の林業に興味をもてた。(四万十市・14歳)

●木の大切さと魅力がよく分かりました。“GO! GO! 林業機械が大あばれ、はインパクトがありますね。(四万十町・91歳)

●森林に囲まれた高知では山が身近ですが、山の仕事を知る機会は少ないため、勉強になります。森林環境税がどのように使われているのかを知ることができ、自分達も森林に関わっているんだなと思いました。(大川村・39歳)

●林業が身近に感じられるような内容が多く勉強になりました。(いの町・44歳)

●林業の魅力を発信している唯一の雑誌で、とても良いと思う。(中土佐町・35歳)

●家に薪ストーブがあるので、冬に薪は必需品です。自分たちで木を切り、薪にして乾かします。今号の内容、林業・山・林業機械は勉強になりました。(本山町・62歳)

●安全に林業を行える工夫がされていると知り、安心しました。(南国市・42歳)

●高知県で盛んな林業について、様々な役割の仕事をこのような冊子で子どもに教えてくれて、親も勉強になります。ありがとうございます。(高知市・49歳)

●県民税に、森林環境のための税金も含まれていると知って驚きました。子どもたちの森林学習にも使われているとの事なら大いに歓迎。今回の冊子は、4歳の息子が重機の記事に興味津々でした。わかりやすい説

明でとても面白かったです。(高知市・43歳)

●子どもが、林業機械の特集に夢中でした。森に行つて乗りたいそうです。(高知市・34歳)

●子どもが保育園からもらってくるので読んでいます。木に関する情報誌は他になく、ページ数もちょうどいいので読みやすいです。子どもは重機のページに関心を持ち、何度も聞いてきました。ぜひ続けて欲しい雑誌です。(土佐町・40歳)

●子どもが、機械の説明文や写真を楽しんでいました。見たことのない機械も多くあり、興味を持っていました。(いの町・31歳)

●重機がかっこよかったです。(日高村・46歳)

●特集ページの林業機械が、なかなか目にすることがないので面白かったです。(高知市・42歳)

●特集でもあった機械が作動する様子を実際に見られるテーマパークがあれば、ちびっこが大喜びしそうです。(高知市・61歳)

●子どもと一緒に読んでいます。車が大好きな4歳男児は、初めて見る森の車に大興奮でした。実際に動く動画も見ることができて、家族で色々話をしながら森林について知る事ができてとても良かったです。(高知市・34歳)

●子どもと楽しく読んでいます。息子も自然遊びが大好きなので、身近に林業の話をする機会ができて助かっています。(南国市・33歳)

●林業で使われている重機のすごさにびっくりしました。便利なものがあるんですね。実際に見てみたいと思いました。(津野町・65歳)

●林業機械にも種類があることを初めて知ったし、地球にとって森林は大切な存在であることを、より知ることができる内容でした。(土佐清水市・27歳)

●森林環境税があるのは知っていたが、具体的にどのようなものか理解していなかったので知ることができて良かった。林業に関して専門の機械が何種類もあって効率化されているのには驚いた。(南国市・34歳)

●“Go! Go! 林業、の重機の迫力と、それを操る写真に若い力を感じました。カッコいい。(宿毛市・64歳)

●表紙の女性の表情が本当に素敵で見惚れてしまいました。(高知市・50歳)

●林業大学校で女性も頑張っていることにびっくりしました。(四万十町・65歳)

●いつも楽しく拝見させていただいています。今回は林業機械についてでしたが、いろんな役割がある機械のことがとても勉強になりました。子どももとても興味をもって読んでいました。(須崎市・43歳)

●特集で、林業の現場で使っている機械や仕事の内容、そして女性が活躍していることが分かり、驚きました。カッコいいですね。(佐川町・56歳)

●女性の林業従事者が増えているのだなあと感じます。機械化が進むことで、より女性も従事しやすくなると期待します。(四万十市・48歳)

●林業という大変な仕事についている方たち、また、これからやろうとする人たちを知ることができました。機械あればこそですが、皆さん、気をつけて仕事してください。(中土佐町・49歳)

●林業は知らないことばかりですが、長い目で見るこ

と考えることが大事だと思います。知ることから始めたいと思います。(大川村・37歳)

●よく子どもと林業大学校近くの情報交流館へ行きます。林業大学校の存在を知りながら、どのような事をしているのかが気になっていたのも、今回の特集も良かったです。(香美市・48歳)

●林業大学校を卒業した友人がおり、2人で本誌を読みました。林業大学校があるおかげで、林業で活躍したいたくさんの方が高知にきてくれるきっかけにもなっていてとても嬉しく思います。これからも高知の森を守ってもらいたいです。(高知市・31歳)

●初めて『もりりん』を読んだのですが、凄く面白かったです。林大一年生が卒業し、林業に就職した場合の事など、もっと詳しく知りたくなりました。私も山を持っているのですが、自分に何の知識も技術もないので大変勉強になりました。また『もりりん』を読めるのを楽しみにしています。(佐川町・年齢無回答)

●林業1年生の記事が良かったです。子どもにも林業の仕事をお勧めしたい気持ちになりました。(日高村・42歳)

●林業大学校に進学した教え子がいるので興味を持ち、読みました。林業大学校の事をよく知らない人もまだまだ多いと思うので、中学生にも興味を持ってもらえたらいいと思いました。(高知市・51歳)

●森林環境税については、つい最近のニュースで知っておりましたが、どのような事に使われているか知らなかったのを知ることができてよかったです。高知県は多くの森林があり、管理をする必要性や林業に携わる人が減っているなかで林業大学の活動は大きな存在だと思います。林業に携わる方たちが生活していける環境整備も、今後もっと進むことを願っております。(香南市・37歳)

「おしえて！マモルン」について

●人口減の問題が、日々の心配事です。林業の魅力を知ってもらい、移住してくれる人が増えたらいいと思いました。You tube の取り組みや林業大学校をもっと県外の方に知ってもらう機会があればいいと思います。(南国市・45 歳)

●開いてみようと思えるサイズ感、デザインです。高知県の森林が占める割合が 8 割をこえているのに対し、林業の様々な問題があるために、資源にかえることもままならない。そんな時代と聞いて気になっていましたが、保育園から配られる本誌を見るだけで、現在の情報が理解できるので、大変ありがたいと思っています。(高知市・35 歳)

●保育園からもらってくる冊子の中で、楽しみなものの一つです。高知は森林が多いので、子どもの将来の就業の可能性も含め、知るのはいい機会です。(四万十市・36 歳)

●私は現在高知大学に在籍しており、地元が高知ではありません。そのため、もっと高知を楽しみ、知りたいと考えています。私の先輩に林業について学びを深めている方がおり、本誌について教えていただきました。(高知市・19 歳)

●高知県がこのように林業に力を入れていることを知りませんでした。(兵庫県・57 歳)

●岡山県南部在住の私は、林業とは無縁の環境で育っています。だから、この冊子に出会って、林業がとてもアクティブで魅力的なものだと感じました。また、高知県が税をかけてまで、林業を保護していることを知り、未来を見据えて県政が行われていると感心しました。高知県は、遠い県だという思いを持っていましたが、この冊子のおかげで高知県のイメージが魅力的なものになりました。ありがとうございました。(岡山県・59 歳)

●紙は木からできることが分かってびっくりしました。今まで紙を無駄に使うことがあったので、これからは森林と同じで大事に使おうと思いました。『もりりん』の本で色々なことを学びました。(南国市・8 歳)

●イラストが沢山あって子どもにも読みやすいものでした。また漫画のマモルンでは、ルビもふってあることから、子どももが熱心に読んでいました。(高知市・35 歳)

●森林のことについて絵で知れたし、普段見ているマークを分かりやすく説明してくれてよかった。(高知市・15 歳)

●森林環境税が年額 500 円ということは初めて知りました。マークが素敵です。本誌を読み、FSC マークを覚えた娘と息子が、マークのついている箱を探すことに現在は夢中です。5 才の娘の方は、初めて漫画ページの本文も自ら自力で読み、一緒に理解することができ、思いがけずとても良いきっかけとなりました。大人である自分が森を守ることにつながる行動をとっていきなあと改めて思いました。ありがとうございました。(高知市・32 歳)

●読みやすく、子どもと学べました。“おしえて！マモルン”で FSC マークについて知り、子どもはパッケージの裏を確認していました。限りある資源を守っていきたいと考えさせられました。(埼玉県・40 歳)

●FSC マークに関して初めて知りました。子どもと一緒に家中を探しましたが、残念ながら見つからずじまいでした。今度スーパーで探してみようと思います。『もりりん』インフォメーションで紹介されているイベントにも参加したいです。(高知市・27 歳)

「木の家の魅力をチェック。」について

●いつか木の家を建てたいと思っていました。今回の「子どもがのびのび育つ家」の記事を読んで、とても夢がふくらみました。(高知市・27歳)

●森林環境税があるのをはじめて知りました。やっぱり木の家はすごくあたたかくていいなと思います。「子どもがのびのび育つ家」のような家を建てたいです。(高知市・26歳)

●新築時の、こうち木の住まいづくり助成事業による補助金が素晴らしいと思う。(高知市・56歳)

●木造住宅に関する補助金について載っていて良かった。(須崎市・34歳)

●高知県は緑豊かな自然があるから、それを守ることが重要なことだと考えます。木の家も素晴らしいですが、コストが高い。上手く活用できるようになればいいのですが。(安芸市・57歳)

●木の家のページをもう少し見たいのでその分、ページを増やして欲しいです。(高知市・35歳)

●木の匂いは落ちつきます。木の玩具や家具、家の情報がとても楽しみです。(高知市・42歳)

●この冊子を読んで、将来、家を建てる際は県内の木材を積極的に使用したいと感じました。地産地消を通して高知県の森林業がより活性化するといいと思います。(南国市・32歳)

「森のお仕事図鑑」の感想

●広大な山を年間500円で管理していただけるのは本当にありがたいです。苗木生産者のページもとても勉強になりました。(高知市・40歳)

「みどりの遊び場」について

●森林について知らない知識を得られるところが良いです。「みどりの遊び場」のページは、子どもがいる家庭には嬉しい情報なので続けてほしいです。(土佐市・39歳)

●小さな子どもがいるので、レジャー施設の情報など知れてありがたいです。もっとたくさん特集してほしいです。(高知市・30歳)

●色々な記事が載っていて楽しいです。「インフォメーション」や「みどりの遊び場」のページにも沢山の新しい記事を載せて下さい。どうぞ宜しくお願い致します。(高知市・57歳)

森林環境税について

●森林環境税を知らなかったの、お母さんに読んでもらって、いっしょに見て、勉強になりました。(土佐市・7歳)

●子どもと一緒にいった公園のトイレに森林環境税の500円玉マークがあったのが気になり一度調べたことがあります。身近なところで自分たちにも関係しているのだと感じました。(いの町・40歳)

●森林環境税は、高知県が全国で初めて開始したのですね。すごい。(越知町・60歳)

●森林環境税について知らなかったの、この冊子を通して知ることができて良かったです。もっと森林環境税のことが広まれば、森を大切にしようと思う人が増えるんじゃないかと思いました。(日高村・28歳)

●森林環境税について詳しく知ったのは初めてです。高知から全国に広がったというのも、森林面積が多い高知ならではの感覚。他の税金についてもそうですが、使われている内訳を知る事で払う意義を感じられてとても勉強になった。父や親戚がみんな大工さんで、木材には馴染みがあり大好きなので、これから先も何十年何百年と高知の自然を守っていきたいと思いました。(高知市・28歳)

●学校から子どもが帰って帰る『もりりん』を楽しみにしています。林業土木に少しだけ携わる者としては、徴収された森林環境税を有効に活用してもらえればと思います。(四万十市・41歳)

●森林環境税のことを初めて知りました。野生動物の駆除や学校などにも使われていると知り、すごく勉強になりました。(香美市・43歳)

●森林環境税は高知県が全国ではじめて開始したこと、

また、学習・普及・啓発・木材利用に使われることが分かりました。自分の生活の中でも意識して過ごしていきたいです。(仁淀川町・52歳)

●鳥獣の被害や担い手不足など、自然を守るには対策が必要なので、県民全体で森を守るためにはいい税だと思います。また、『もりりん』のように取り組みなどが知れる情報誌はとても身近に感じられて良いと思います。(四万十市・25歳)

●県民みんなで森を守っていくための税制度である森林環境税が、子どもたちが学ぶ森林環境学習にも使われていることを知れたので、子どもにも森林環境税がどんな制度であるかなどを伝えていけたらと思います。(高知市・33歳)

●森林環境税をもっと林業現場のハード面で活用できるようにしてください。(高知市・年齢無回答)

●自分が払っている税金の内容や使われ方が知れた。円グラフがわかりやすくてよかった。また、漫画のページが分かりやすく、FSCマークに注目して買い物しようと思った。(土佐市・39歳)

●森林環境税は必要と思っていますが、一部だけではなく高知県全体に目を向けて使ってほしいです。(南国市・63歳)

●森林環境税がきちんと山のためにつかわれますように。(仁淀川町・年齢無回答)

●森林環境税が未来に役立ってくれると嬉しいです。(四万十市・43歳)

●森林率が全国一の高知県。森林環境税を有効に活用していただき、その活用の広報にも努めてほしいと思います。(高知市・58歳)

- 本誌や森林環境税を応援しています。森林は恩恵を受けている県民全員で守るべきです。(高知市・41歳)
- 地場産業が少ない高知県にとって、豊かな自然を守り育てて活用していくために必要な税金だと思いました。とても大変な林業に携わる方々にも有効に使っていただきたいと思いました。(香南市・48歳)
- 用途が限定されている森林環境税のためか、年間の徴収額に対して活用予定額が少なすぎるように感じた。税なので難しいかもしれないが、もう少し柔軟に運用できればと思う。(高知市・22歳)
- 森林環境税は思ったより予算額があり、できることもたくさんありそうだと思います。もう少し詳しく知りたいと興味がでました。(四万十町・36歳)
- 楽しく読ませていただきました。森林環境税が森林ボランティアの方々にも使われていることを初めて知りました。勉強になりました。(高知市・46歳)
- 農業を営んでいますが、毎年、野生動物による食害等に悩まされているので、その対策にも森林環境税が活用されているのはありがたいですし、森林環境を守るために必要だと思います。(中土佐町・年齢無回答)
- 身内に農家があり、野生鳥獣(特にイノシシ)から作物をいかにして守るか、対策を考えあぐねっているとよく聞いていたので、必要な税だと感じました。初めて読みましたが、情報量が多く興味深かったです。林業大学校ではさまざまな年齢の方が学んでいることを知り、ものづくりが好きな自分の家族も、もしかしたらいつか学ぶことがあるかもしれないと思いました。(高知市・29歳)
- 室戸市で果樹栽培を行っていますが、室戸市にもサンジャクがやってきたというニュースを聞いてヒヤヒヤしています。森林環境税が野生鳥獣の捕獲にも使わ
- れていると知り、有難く思いました。(高知市・64歳)
- シカの食害による山の荒地地化対策に環境税を有効に使って欲しい。(高知市・65歳)
- 動物と森林を含む自然植物との共生・共存は難しいけれど、共に生きていくことができるはず。森林環境税の意義もそこにある。(四万十町・71歳)
- 高知県は山が多いので、県産木材のPRや野生動物との共生のために必要なお金がいるというのは県民としても納得のいくことです。せっかくの県産木材を高く販売出来るようにPRを頑張っていただきたいです。(高知市・40歳)
- 木や自然が好きで読んでいます。森林環境税の説明が分かりづらかったです。1ページの紙面に文字数が多いと読みづらくなります。(高知市・64歳)
- 森林環境税は聞いた事はあるが、どのように集めているのか、どのように使われているのかをもっともっと知りたいです。(中土佐町・40歳)
- 森林環境税があることは知っていますが、何回聞いても、色々ありすぎて中身を覚えられない。林業大学校の就職率100%というのはすごい。(安芸市・53歳)
- 一律500円という税負担は、500円と言えど重みがあります。適切な税金の利用、用途の検討をお願いしたいと思います。(香美市・年齢無回答)
- 国の森林税との違いがよくわかりません。(南国市・76歳)
- 国の森林環境譲与税の情報も知りたい。(高知市・60歳)

「もりりん」について

- 面白かった。(高知市・5歳)
- いろんなことを教えてくれた。(高知市・11歳)
- 読んだら、知らなかったことが色々分かりました。
(大豊町・11歳)
- 気になったことや知りたかったこと、知らないことがすべてわかった。森林のことがもっと分かった。もっともっと知りたい。(安芸市・11歳)
- 自然が大好きな娘のおかげで、私もたくさん楽しませてもらっています。『もりりん』はいつも楽しみにしています。母子で学ぶ良い機会をありがとうございます。(高知市・49歳)
- 知らなかったことを学べる、とても素敵な本誌でした。(高知市・28歳)
- 小さい子どもでも読めるように、もう少し字を大きくすればいいと思う。(香南市・48歳)
- 発行回数を増やしてほしいです。(高知市・6歳)
- 森林と生態系、森が育む動植物、森と鳥、森と動物などを特集してください。(中土佐町・67歳)
- 森林環境税というものがある事を初めて知りました。なぜ野生鳥獣が増えているのか、もともとは自然界のバランスは保たれていたはずなのに、いつからバランスが崩れたのか、どのような理由があるのか。更に知りたいと思いました。(高知市・37歳)
- 職場でいただいたり、娘が学校で配布されたりして毎号読ませていただいています。いつもはあまり気にすることなく生活してしまっている森林のことを、あらためて考える良い機会になっています。森と動物や鳥類との関係についての記事も読んでみたいです。(高知市・47歳)
- 林業と河川、海がつながっていることも取り上げて欲しい。(四万十市・44歳)
- 森林組合の職員など、山で働いている人の職場での楽しいこと、辛いと思ったことなどを教えてもらいたいと思います。(四万十市・66歳)
- 雑誌を見る機会が減っているので、SNSをもっと活用してほしい。(土佐清水市・29歳)
- この分野は、なかなか知らない事が多いので、是非色々と情報を発信して行ってほしいです。(高知市・39歳)
- 普段あまり考えることがない森林についてですが、このような冊子があることで、高知県は森林に恵まれ、いろんな取り組みをしていることが分かるので良いと思う。(須崎市・38歳)
- 森林のことを普段は意識していないので、当たり前にある森林だけだと大事にしないといけないという気持ちになりました。(いの町・30歳)
- 知るきっかけとして、面白い読み物だと思った。(いの町・42歳)
- いつも読ませていただいております。実家は周りが高知市なのに、森林のことをなにも知らなかったんだと改めて思います。(香美市・32歳)
- ほとんどを木に囲まれている高知県。でも、1本の木やその育つ環境を知ることはない。木を知れば私たちの生活はもっと豊かになるに違いない。丁寧な誌面が面白かったです。(高知市・69歳)

●3歳の娘と一緒に、これからの環境（森や自然）にどうやって向き合うかを考えています。これからもよろしくお願いします。（南国市・40歳）

●いつも楽しみにしています。これからも読ませていただきます。（宿毛市・31歳）

●漫画や写真が多く、とても読みやすい。また楽しく読める。（高知市・17歳）

●大人も子どもも興味を持って読める内容で、いつも楽しみにしています。読み終わった後は、いつも温かい気持ちになります。（高知市・38歳）

●子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる『もりりん』は、児童館併設の本館（朝倉総合市民会館）でも、みんながよく持って帰ります。小学生も読んでいます。（高知市・61歳）

●私は木材に関係する仕事をしています。冊子は娘が通っている幼稚園からいただきましたが、私にとって面白い本でした。次回も期待しています。（四万十市・52歳）

●本誌は、孫が保育園からもらってきたものを見せてもらいました。私の子育て時代にはなかったので、興味深く読みました。（高知市・71歳）

●漫画のページや重機のページなど、子どもも興味があるページが入っていて良かった。子どもの遊び場や、伐採した不要な木材で作ったおもちゃ、子どもの興味があるイベントなどの情報がリンクしていれば嬉しい。（高知市・35歳）

●イベント情報やおすすめのおでかけスポット等、たくさん紹介してください。（安芸市・35歳）

●子どもの頃、親子行事で木工教室や体験学習に行ったのを思い出し、懐かしくなった。（高知市・30歳）

●保育園で渡された時は興味がなかったが、読むと面白かった。（黒潮町・33歳）

●毎号、子どもが学校から持ち帰るのを楽しみにしています。奈良県から14年前に移住してきました。奈良も山林が多いですが、さすが高知県。森林を大切にしたい、ずっと暮らしていきたいです。（宿毛市・50歳）

●興味深かった。次回も楽しみです。（芸西村・59歳）

●図や写真、動画など、わかりやすい誌面構成だと思います。木や林業についての、いろいろな視点からの内容で、飽きずに最後まで読む事ができました。（土佐市・36歳）

●毎回、森からの素敵なプレゼントの本当に素敵な商品を見て、高知県には木で作った特産品がたくさんあることにびっくりしています。（南国市・61歳）

●いつも楽しく拝読しています。高知は森林が1番多い県ということで、取り組みの仕方も他の県に比べて色々あることがわかりました。空気と水が綺麗な高知県に住めて幸せです。（仁淀川町・45歳）

●いい雑誌だと思います。森林に囲まれた高知県のことを、もっと県民に知ってもらいたいですね。観光地化するのもいいですが、もっと足元を見て、知ってほしい。（高知市・73歳）

●山の一日先生事業を利用して、今年の夏休みに親子木工教室を行いました。子どもたちの木育のために又利用したいと思っています。『もりりん』は絵が可愛くてわかりやすいので、子どもたちや保護者の方に紹介しています。今後も楽しみにしています。（高知市・年齢無回答）

意見・要望等

●高知市や四万十市で開催されている「山もりフェス」についての特集を読みたいです。(黒潮町・35歳)

●間伐材のチップの利用法を教えてください。(須崎市・56歳)

●最近山が削られている所をよく見かけるため、伐採したあとの木材がどうなっているのか、伐採した後の土地をどうするのかを知りたい。(高知市・23歳)

●気軽に子どもも遊べるくらい、森が整備されたらいいと思う。(高知市・51歳)

●昆虫に興味がある子どもは多いので、昆虫特集をしたり、カブトムシやクワガタ採集教室をしてはどうか。川の遊びを知らない子どもが増えているから、アウトドア教室や体験もいいですね。もう少し次世代が興味を持つ取り組みにお金を落として育成しては。(高知市・47歳)

●森林の恩恵は幅広い人にもたらされていると思う。都市部の方は直接関わりがないから関係ないではなく、見えないところで受けている森林の公益的機能を発揮するための取り組みは今後も推進していくべき。直接恩恵を受けているわけではないから、みんなの理解は難しいかもしれないが。(高知市・29歳)

●山林の所有者が高齢化して、間伐がされない山が増えてきていると感じます。木を伐りだそうにも採算が合わず。既に補助があるのでしたら知りたいです。(高知市・37歳)

●私は、香我美町にある杉と檜の山を相続で承継しましたが、小規模のため、伐採や植林の相談ができませんでした。祖父が植林し、父が枝打ちをし、木は立派に育ちましたが、私の代でそれを活かすことができな

い状況です。山林資源を無駄にせず、小規模山林に対しての有効活用策を作って頂きたいと思います。(香南市・56歳)

●Xをフォローさせていただきました。私のように興味のある者は、自分から情報を取りに行くのでスーパーに置かれていても手に取ります。でも、ほとんどの方はメリットがないと気にとめないのではないのでしょうか。重機がたくさん集まるイベントや、木の手づくりつみ木で遊べるイベントなどで情報を発信されるのはいかがですか。子どもの頃から木に触れることが大切です。(南国市・50歳)

●木を使ったワークショップや、森で遊ぶイベントがあると、もっとみんなが森や自然に興味をもつきっかけになるかもしれません。(高知市・43歳)

●森林を守ってくれている人に感謝したいと思います。(高知市・28歳)

●高知の素晴らしい森林を今後も維持・保全してほしいです。(土佐清水市・50歳)

●地球温暖化や森林伐採など、今、問題となっている事について、森林県である高知県が『もりりん』を通じて色々な取り組みをして、環境にやさしい県であることをアピールしていくことで、県外から注目され、移住者も増えるようになれば良いですね。(土佐市・41歳)

●11月11日が、こうち山の日だとは知りませんでした。山登りが好きなので、11月11日には山へ遊びに行こうと思います。(いの町・56歳)